



ふ れ あ い
市長室



南あわじ市長 守本 憲弘

ノルウェー訪問団

皆さんは「ノルウェー」と聞いて何を思い浮かべますか。オーロラ、フィヨルド、ムングの「叫び」？実は今回めざしたのは、同国北部にある「サルトストラウメン海峡の渦潮」です。

「鳴門海峡の渦潮」は、類まれな自然美と自然現象としての価値を将来にわたって保全し、世界に発信するため、世界遺産への登録をめざしています。調査を進めると多くの発見がありました。一つは、潮の満ち干、海陸の地形などが見事に重なって渦潮が出来るメカニズムです。加えて、大きな渦潮ができる地域が世界に複数あることも判明しました。そして、世界遺産登録を有利に進めるため、それらの地域と手を組んで申請する方策が浮上してきました。その相手となる筆頭格が、幅 150 メートルの狭い海峡を流れる激しい潮流からダイナミックな渦が生まれるサルトストラウメン海峡です。

きっかけづくりのため、この3月、本市で開催された『「鳴門海峡の渦潮」国際シンポジウム』に、同海峡が所在するボーダ市と、その対岸でノルウェーの世界遺産暫定リストに登録されているロフォーテン諸島の関係者を招き、地域



▲サルトストラウメン海峡の渦潮 ▲ピンネラッド市長との昼食会

の特色などを話していただきました。そして、鳴門の渦潮をはじめ、淡路島の観光地や産業関連施設を案内し、意見交換する中で、さらに友好・協力関係を深めるため、淡路島からノルウェーを訪問することが合意されました。

こうして、8月初旬、兵庫県、本市、商工会、漁協、観光関係者からなる訪問団が、サルトストラウメン海峡の渦潮やロフォーテン諸島などを視察するとともに、今後の協力や友好交流に向けたシンポジウムに参加し、意見交換を行いました。

私は団長を務めさせていただきましたが、ピンネラッド・ボーダ市長も交えた昼食会では、渦潮の世界遺産登録に向けた協力関係構築と、自然や産業など共通点を生かした両市の友好交流を提案しました。ピンネラッド市長は、世界遺産については、まだ研究を始めたばかりでさらに検討を深めたいとやや慎重でしたが、友好交流については、観光分野などでの協力が強い関心を示し、担当者間で実現に向け調整していくこととなりました。

このほか、ロフォーテン諸島の美しい自然を生かす観光政策、サーモンの養殖場やタラの乾燥工場などの地場産業関連施設の視察なども行い、団員皆が有意義な時間を過ごすことができました。今後とも双方にとって実りのある交流を深めていきたいと思ひます。



事業の基本計画について協議する委員ら

8月7日に淡路夢舞台国際会議場で第1回実行委員会が開かれ、国・県・淡路島内3市のほか農林水産業・商工業・公共交通機関などの関係者ら61人が出席。

（淡路花博）から20周年を記念して、来年秋と再来年春に「淡路花博20周年記念花みどりフェア」が開催されます。

（淡路花博）から20周年を記念して、来年秋と再来年春に「淡路花博20周年記念花みどりフェア」が開催されます。

席。開催概要や展示、行催事計画などを取りまとめた基本計画案について協議が行われ、出席した委員からは「海上交通の活用」や「外国人旅行者への受け入れ環境整備」について意見がありました。

花みどりフェアの開催期間は、秋期は令和2年9月19日（土）～11月3日（火）の46日間、春期は令和3年3月20日（土）～5月30日（日）の72日間となっています。

淡路花博20周年花みどりフェア
来年秋・再来年春に開催

7月1日付で人権擁護委員に安田敬子さん（北阿万）が委嘱されました。

人権擁護委員は、法務大臣が委嘱する民間のボランティアで、市町村長が地域住民の中から推薦しています。市内では9人の委員が委嘱されており、人権相談を受けて問題解決に努めるなど、人権尊重の考えを広める活動をしています。

7月23日、神戸地方法務局洲本支局で委嘱状の伝達式があり、壽谷幸司支局長から安田さんに委嘱状が手渡されました。安田さんの任期は令和4年6月30日までの3年間となります。

また、6月30日で退任した折口一美さん（阿万）には、在任中の功績がたたえられ、法務大臣から感謝状が贈られました。

人権擁護委員・安田さんに委嘱状
折口さんに感謝状を贈呈



委嘱状・感謝状を受け取った安田さん（中央左）と折口さん（中央右）

オープンキャンパスを開催

日時 9月22日（日）午前11時～午後4時
場所 吉備国際大学南あわじ志知キャンパス
内容 学科説明、施設見学、個別相談、AO 面談ほか
申込み・問合せ 同大南あわじ志知キャンパス事務室 ☎ 42-4700
※高校生、保護者の方は申込不要です

地域創成生涯学習講座 ※要申込・無料

場所 同大キャンパス内大講義室（C棟3階）
申込み・問合せ 同大地域連携センター ☎ 42-4708

9月開講講座
第1回 「植物の形づくり」
日時：9月18日（水）午前10時30分～正午
講師：農学部地域創成農学科 准教授 桧原 健一郎

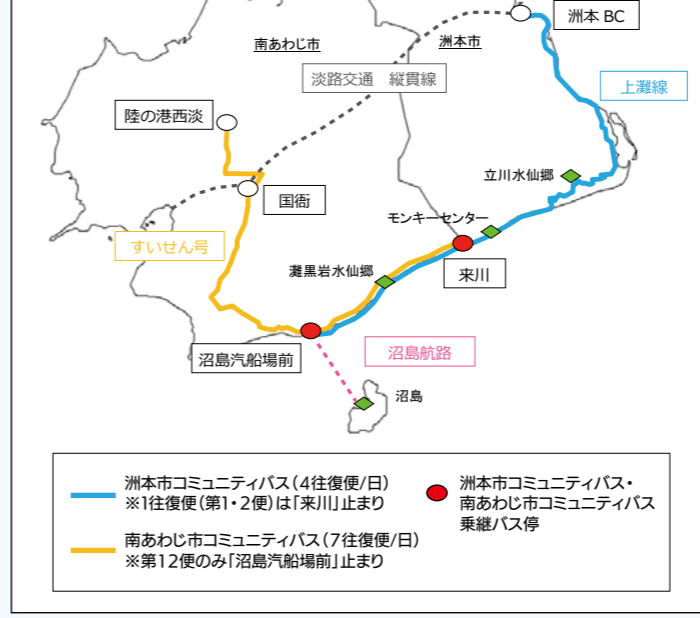
吉備国際大学からのお知らせ

10月開講講座
第2回 「麦飯、食べませんか？」
日時：10月7日（月）午前10時30分～正午
講師：農学部地域創成農学科 准教授 水見 英子

第3回 「健康と身体を動かすこと」
日時：10月19日（土）午後1時30分～3時
講師：社会科学部スポーツ社会学科 准教授 天岡 寛

第4回 「食べて健康に - 食品機能の追求から -」
日時：10月30日（水）午前10時30分～正午
講師：農学部醸造学科 教授 土井 裕司

運行イメージ図



10月1日から、洲本市「ミニニティバス上灘線（※上灘・沼島線に名称変更予定）」が延伸し、沼島汽船場前～洲本バスセンター間を乗り換えなしで（1往復便を除く）移動できるようになります。

これに伴い、南あわじ市「ミニニティバスしらん・らんバス」南北幹線（すいせん号）の第12便を「来川」止まりから「沼島汽船場前」止まりに変更します。また、これまで南あわじ市「ミニニティバス」で乗り継ぎなく利用できていた区間で、洲本市「ミニニティバス」と南あわじ市「ミニニティバス」での乗り継ぎが発生する場合は、これまでと同様の運賃で乗車できるよう乗継券を発行します。

市民協働課 ☎ 43・5244